

油糧米分科会資料

# 秋田県湯沢市での活動について

2013年6月3日

一般(社)日本発芽玄米協会

# 当協会の活動近況

■東北胚202号の品種登録申請受理

名称:「金のいぶき」

当協会で商標登録申請中。

■「金のいぶき」を宮城県と利用承諾契約  
締結

■大豆栽培後(肥料過多)圃場での試験栽培

■秋田県湯沢市での活動

# 当協会から湯沢市への提案

1. 「水田の有効活用を目的とした高機能こめ油用原料の栽培（水田の油田化計画）」
2. 「東北胚202号を用いた高機能こめ油及びプレミアム玄米による6次産業化」
3. 「機能性の高い食品の栽培→生産→消費を循環し続ける健康長寿地域社会の実現」

# 第2回こめ油フォーラムin秋田湯沢

■平成25年4月26日(金)湯沢グランドホテルにて実施

■参加人数約180名(秋田県・JA関係者・湯沢市食生活改善指導員)

■講師:食糧ジャーナル 鶴田編集長  
ボーソー油脂 高橋課長

■内容:講演と昼食会

又する農業情勢を見据えた次の一手

月刊食糧ジャーナル

編集部長 鶴田 裕氏

美味しい・ヘルシーこめ油の秘密!

ぬかから生まれたこめ油はスゴイ!」

ホーソー油脂株  
営業部食品部課長 高橋美奈子氏



# 第2回こめ油フォーラムin秋田湯沢

演題  
『激変する農業情勢を見据えた次の一手』

月刊食糧ジャーナル  
編集部 長 鶴田 裕氏

演題  
『安心・美味しい・ヘルシーこめ油の秘密！  
～米ぬかから生まれたこめ油はスゴイ～』

ホーソール油脂株式会社  
営業部食品部課長 高橋美奈子氏



半田好貴様

島田


佐藤貴之様

奥西智哉様

# 第2回こめ油フォーラムin秋田湯沢

さあ、こめ油を使って、美味しくヘルシーライフをスタートしましょう

こめ油は、健康にいいだけでなく、美味しくも使えます。お料理のアクセントとして、揚げ物や炒め物、ドレッシングなどに使えます。また、お茶やコーヒーにも使えます。ぜひ、こめ油を使って、ヘルシーライフをスタートしましょう。



講師  
激愛する農業情勢を見据えた次の一手  
月刊食糧ジャーナル 編集長 鶴田 裕氏  
安心・美味し・ヘルシーの油の秘密！  
米ぬかから生まれたこめ油はスコイ！







# 全体イメージ



# 機能性の証明(栄養疫学研究)



こめ油を食べる前と後の健康状態をチェック → 健康増進への有効性を科学的に立証する。

## 検討会メンバー

### 【講師】

(独)農研機構 果樹研究所 杉浦先生

(独)農研機構 食品総合研究所 奥西先生

### 【メンバー】

湯沢市(農林・健康対策)、こまち農業協同組合、雄勝中央病院、日本発芽玄米協会

## 研究の実施方法 (現在の想定)

### 1. 集団健診の活用 (国保、後期高齢)

- ①事前に、文書等で研究参加の同意を得る(1,000人規模)
- ②同意を得た方に食生活に関するアンケートを配布・記入
- ③26年春の健診で、食べる前の状態をチェック(血液検査等)  
→同時に米油とレシピを配布して一定量を摂取してもらう
- ④(3~4ヶ月後)、健診とは別に、食べた後の状態をチェック  
※翌年以降も、同様に追跡調査していく(5~10年)

### 2. 病院の活用

- ターゲットは何らかの疾患をかかえた方(健康でない人)
- 通院患者を対象に、こめ油を食べていただき状態をチェック

【こめ油が市民に普及次第、不特定多数での観察研究を開始】

## 研究資金の候補 (国・研究費を想定)

【いずれも研究主体は食品総合研究所】

### 1. 平成24年度補正予算 (農林水産省)

【事業名:機能性の持つ農林水産物・食品開発プロジェクト】

- 予算枠20億円、10件の当選であれば1件あたり2億円
- 事業期間はH24~H27(実質3ヶ年)
- コンソーシアム(共同体)  
→研究機関、行政、医療機関、農業団体、民間団体等
- 直接的な研究費はもちろん、普及活動・生産流通などのソフト経費も対象となる見込み

### 2. 平成25年度当初予算 (農林水産省)

- 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業(新規)
- 農林水産資源を活用した新需要創出プロジェクト(継続)など

## 主な課題

### こめ油では前例のない研究だけに課題が山積

- ①市全域における「こめ油」の普及 →観察研究ができない
- ②こめ油の摂取方法 →どの程度の期間、何グラム
- ③予備調査の実施 →本当に血液分析値に変化はあるか
- ④医療機関の協力 →雄勝中央病院
- ⑤健診の受託団体等との調整

「秋田・湯沢から世界へ発信！」

# 湯沢市今後の主たる課題

## ■休耕田の活用

→反収だけではない生産者のメリットは？

## ■「油糧米」定義とコスト

→現状では加工用米もしくは新規需要米

## ■生産者・行政・油脂メーカー・需要者の合意形成

→マルチwinになる合意点は？

## ■地域の産業足りうるか

→原油生産だけでは産業化は困難。「金のいぶき」を戦略的米資源とし多角的に活用

# 「金のいぶき」をブランドの「旗」に

戦略的米資源「金のいぶき」						
金のいぶきの「ブランド」形成						
	商品化			商品化	普及啓蒙	
	プレミアム玄米	米菓	全粒粉	高機能米油	疫学調査	市民試食会
2013年	○					○
2014年	↓		○		○	↓
2015年	↓	○	↓	○	↓	↓

